

令和 7 年度

会津高校 進路だより

発行日
令和 7 年 5 月 20 日
第 2 号
進路指導部発行

新緑の清々しい季節となりました。新学年での生活にもそろそろ慣れてきたところでしょうか。それぞれ一度自分の生活スタイルを点検し、忙しい中にも学習に軸足をおいた生活となるよう、必要に応じて軌道修正を図ってほしいと思います。これから 1 年生は文理選択、2 年生は進路に応じた科目選択、3 年生は具体的な志望校選択をすることになります。いずれの選択にしても必要な観点について以下に紹介します。

志望校選びの 7 つの観点

「蛍雪時代 4 月臨時増刊 全国大学学部・学科案内号」より一部抜粋

(各教室に配置してあるので、ぜひ手に取ってみてください)

① 学びたい学問 (学部・学科)

まずは、自分が学びたいことがどこの大学で学べるのか、把握することから始めましょう。学部・学科の名称が同じもしくは似ていても、学べる内容やカリキュラムの特色は大学により異なります。また、名称だけでは内容がわからないところもあります。ある程度大学を絞り込んだら、各大学・学部のホームページなどを見て、具体的に何が学べるのか、どのような研究をしている先生がいるのかなどを詳しく見ていきましょう。

② 卒業後の進路・資格

なりたい職業や取得したい資格がある人は、そこから逆算し、その職業に就くために必要な知識や技術を修得できる大学・学部・学科はどこか、資格取得が可能な大学・学部・学科はどこかという観点で絞り込んでいきましょう。特に、医師、歯科医師、看護師、理学療法士、薬剤師などの医療系、小学校教諭、中学校教諭などの教員養成系などでは、大学で所定の科目を履修していることが資格取得や国家試験受験の条件になっています。必ず資格取得のためのカリキュラムが組まれている大学・学部・学科を選ぶようにしましょう。また、職業養成に特化していない学部・学科系統でも、将来の職業に役立つ資格や免許を取得できるところもあります。興味のある資格や免許がある人は、それを軸に大学を探してみるとよいでしょう。

③ 大学 (キャンパス) の場所

希望条件がある場合は、エリアを絞って大学を探していくのが有効です。気をつけなければならないのが、特に規模の大きな大学の場合、学部・学科や学年によりキャンパスの場所が異なるケースがあるということ。志望校を絞り込む際には、キャンパスの所在地まで確認しておきましょう。



④留学・研修

大学在学中に海外留学や語学研修などに参加したいと考えている人は、留学制度や国際交流が充実しているかどうかという観点でも大学を見てみましょう。交換留学など大学独自の留学制度だけでなく、実際にどのくらいの学生が留学しているか、単位互換制度があるか（海外の大学で取得した単位が卒業単位として認められるか）、費用面で補助があるのかなども要チェックです。

⑤大学の雰囲気・校風・設備・環境

大学のカラーも大事な観点です。大学のホームページやパンフレットだけでは伝わりにくいので、志望する大学についてはオープンキャンパス等で実際に目で見て確認しておきましょう。

⑥学費

学費は国公立大か私立大かによって、また、私立大のなかでも大学や学部系統（文系か理系かなど）によって、大きく異なります。大学受験にかかる費用や入学後の生活費も含めるとかなりの金額が必要になるので、必ず保護者と話し合っておきましょう。また、学費に関しては、奨学金制度を利用するのも手。各大学や地方自治体、育英団体などがさまざまな奨学金制度を設けています。なかには返済不要の給付型もあるので、要件などを調べてみましょう。

⑦入試（方式、科目、偏差値）

大学を選ぶ際に重要になってくるのが、入試の方式や科目、偏差値。近年は入試の方式が多様化しており、一つの大学・学部のなかでも多数の選択肢があるケースがほとんどです。自分の得意や強みを最大限活かせる方式で受験するためにも、どのような入試方式があるのかを事前に押さえておきましょう。主な入試方式には「一般選抜」「学校推薦型選抜」「総合型選抜」があり、一般的に、一般選抜では学科試験（共通テストや個別試験）が重視され、学校推薦型選抜や総合型選抜では高校時代の成績や活動状況、大学での学びへの意欲などが総合的に評価されます。どの方式が自分に向いているのかを含めて、検討してみましょう。また、入試科目も要チェックです。私立大文系でも数学が必要な学部・学科などもあるため、どの科目が必須なのか、どの科目が選択できるのかなど、細かく見ていきましょう。

行事

卒業生講演会

期日 5月27日（火）

講師 愛媛大学大学院農学研究科教授
たたらざこ のりひさ
鑑迫 典久 氏（第33回卒）

演題 「高校時代の僕に教えてあげたい、
本当の環境の話」

〈講師紹介〉

会津高校を卒業後、東京大学農学部に進まれました。ご専門は化学物質が自然環境におよぼす影響を研究する生態毒性学や環境リスクで、その分野の第一人者として活躍されています。

日程

8:25～11:55	1～4校時（45分授業）
11:55～12:35	昼休み
12:35～13:00	生徒入場（椅子持参）
13:00～13:10	開会
13:10～14:40	講演（90分）
14:40～14:50	質疑応答
14:50～15:05	閉会
15:10～15:35	生徒退場
	教室で感想用紙記入・回収 （簡単清掃 放課）

